

# 平成27年7月 東京地区百貨店売上高概況

平成27年8月19日

## I. 概況

1. 売上高総額	1,473億円余
2. 前年同月比	7.2% (4か月連続プラス)
3. 店頭・非店頭の増減	店頭7.5%(90.8%) : 非店頭4.0%(9.2%) ( )内は店頭・非店頭の構成比
4. 調査対象百貨店	13社 25店 (平成27年6月対比±0店)
5. 総店舗面積	856,715㎡ (前年同月比:0.0%)
6. 総従業員数	19,084人 (前年同月比:-0.5%)
7. 3か月移動平均値 (店舗数調整後)	12-2月 1.7%、1-3月 -5.1%、2-4月 -0.8%、 3-5月 1.1%、4-6月 11.5%、5-7月 8.1%

[参考] 平成26年7月の売上高増減率は-1.4%

### 【7月売上の特徴】

- (1) 7月の入店客数は上旬の天候不順により伸び悩んだが、中旬以降の天候回復とクリアランス時期の変更などをきっかけに盛り返し2%強のプラスとなった。
- (2) 商品別では、主要5品目のうち衣料品(+5.1%)、身のまわり品(+15.5%)、雑貨(+24.4%)、家庭用品(+1.7%)がプラスを記録。食料品も序盤の雨天日やギフト前倒しの影響を受けながらも微減(-0.2%)にとどまり、総額では7.2%増と4か月連続で前年を確保した。
- (3) 細分類では、子供服(+16.9%)、化粧品(+35.2%)、美術・宝飾・貴金属(+30.2%)が2桁増。シェアの大きい婦人服(+5.1%)が好調だったことや、紳士服(+4.0%)が堅調だったことで全体売上に貢献した。また、クリアランスの月ずれによる嵩上げに加え、開始時期をずらしたことでプロパー商品の販売期間が伸びたこと、期間の絞り込みで秋物展開を早めたことなどから衣料品全体の売上が増加した。
- (4) 個別商材では、梅雨明け後に暑い日が続き、ジャケット、カットソー、ワンピース、男性用ショートパンツなどのほか、傘やサングラスなどのUV関連商品が好調だった。中元商戦については、6月が早期展開や商品強化、及び自家需要商品の堅調を受けて好調にスタートしたものの、期間計では微減に終わった。なお、インターネット受注については、各社とも通計で売上を伸ばしている。
- (5) 8月については、16日現在で日曜日の1日増を含み、約12%増で推移している。

### 【要因】

- (1) 営業日数増減 31.0日 (前年同月比±0.0日)
- (2) 入店客数増減 (回答店舗数で見る傾向値/前年同月比/有効回答数17店舗)  
①増加した: 8店、②変化なし: 4店、③減少した: 5店
- (3) 7月歳時記 (中元、クリアランス、盛夏物商材)の売上 (同上/有効回答数13店舗)  
①増加した: 4店、②変化なし: 7店、③減少した: 2店

## 東京地区百貨店 売上高速報 2015年07月

	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率(%)
<b>総 額</b>	<b>147,353,718</b>	<b>100.0</b>	<b>7.2</b>
紳士服・洋品	11,134,298	7.6	4.0
婦人服・洋品	28,742,477	19.5	5.1
子供服・洋品	2,483,573	1.7	16.9
その他衣料品	3,212,811	2.2	1.2
<b>衣 料 品</b>	<b>45,573,159</b>	<b>30.9</b>	<b>5.1</b>
<b>身のまわり品</b>	<b>21,697,168</b>	<b>14.7</b>	<b>15.5</b>
化粧品	9,570,830	6.5	35.2
美術・宝飾・貴金属	9,748,072	6.6	30.2
その他雑貨	6,019,102	4.1	3.6
<b>雑 貨</b>	<b>25,338,004</b>	<b>17.2</b>	<b>24.4</b>
家具	1,812,656	1.2	-12.7
家電	729,937	0.5	4.8
その他家庭用品	4,757,504	3.2	8.0
<b>家庭用品</b>	<b>7,300,097</b>	<b>5.0</b>	<b>1.7</b>
生鮮食品	6,113,490	4.1	0.0
菓子	10,207,024	6.9	0.5
惣菜	7,759,827	5.3	3.1
その他食料品	14,721,742	10.0	-2.3
<b>食 料 品</b>	<b>38,802,083</b>	<b>26.3</b>	<b>-0.2</b>
<b>食堂 喫茶</b>	<b>3,632,103</b>	<b>2.5</b>	<b>2.6</b>
<b>サ ー ビ ス</b>	<b>1,957,331</b>	<b>1.3</b>	<b>-5.8</b>
<b>そ の 他</b>	<b>3,053,773</b>	<b>2.1</b>	<b>-6.6</b>

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。  
本統計には消費税は含まれておりません。

対前年増減(-)率(%)

商品券	4,341,249 千円	-5.3
従業員数	19,084 人	-0.5
店舗面積	856,715 m <sup>2</sup>	0.0

営業日数	31.0 日	前年	31.0 日
------	--------	----	--------

## Ⅱ. 商品別の動き

主要5品目では、身のまわり品、雑貨、家庭用品が4か月連続、衣料品が2か月ぶりのプラスとなった。また、食料品が4か月ぶりのマイナスとなった。その他の品目は、紳士服・洋品、その他衣料品、化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、その他家庭用品、惣菜が4か月連続、菓子が2か月連続、婦人服・洋品、子供服・洋品、家電が2か月ぶりのプラスとなった。

### 【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
<b>総額</b>	<b>7.2</b>	<b>—</b>	<b>4か月連続プラス</b>
紳士服・洋品	4.0	0.3	4か月連続プラス
婦人服・洋品	5.1	1.0	2か月ぶりプラス
子供服・洋品	16.9	0.3	2か月ぶりプラス
その他衣料品	1.2	0.0	4か月連続プラス
<b>衣料品</b>	<b>5.1</b>	<b>1.6</b>	<b>2か月ぶりプラス</b>
<b>身のまわり品</b>	<b>15.5</b>	<b>2.1</b>	<b>4か月連続プラス</b>
化粧品	35.2	1.8	4か月連続プラス*
美術・宝飾・貴金属	30.2	1.6	4か月連続プラス*
その他雑貨	3.6	0.2	4か月連続プラス*
<b>雑貨</b>	<b>24.4</b>	<b>3.6</b>	<b>4か月連続プラス</b>
家具	-12.7	-0.2	2か月連続マイナス
家電	4.8	0.0	2か月ぶりプラス
その他家庭用品	8.0	0.3	4か月連続プラス
<b>家庭用品</b>	<b>1.7</b>	<b>0.1</b>	<b>4か月連続プラス</b>
生鮮食品	-0.0	0.0	4か月ぶりマイナス*
菓子	0.5	0.0	2か月連続プラス*
惣菜	3.1	0.2	4か月連続プラス*
その他食料品	-2.3	-0.3	4か月ぶりマイナス*
<b>食料品</b>	<b>-0.2</b>	<b>-0.1</b>	<b>4か月ぶりマイナス</b>
<b>食堂喫茶</b>	<b>2.6</b>	<b>0.1</b>	<b>4か月連続プラス</b>
<b>サービス</b>	<b>-5.8</b>	<b>-0.1</b>	<b>4か月ぶりマイナス</b>
<b>その他</b>	<b>-6.6</b>	<b>-0.2</b>	<b>2か月ぶりマイナス</b>
<b>商品券</b>	<b>-5.3</b>	<b>-0.2</b>	<b>5か月連続マイナス</b>

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化した。

お問い合わせは、日本百貨店協会 森・関まで  
 TEL 03-3272-1666 ホームページアドレス <http://www.depart.or.jp>